

新潟で中2女子自殺

自宅に遺書 いじめの有無調査急ぐ

三十一日午前八時頃、新学校は自殺の原因に、いじめが原因かどうかなどの調査を始める。同署や県警少年課は今後、両親や学校から事情を聞き、事関係を調査することとしている。

関係者によれば、「この中学生は二十日、「風邪をひいた」として学校を休んだ。下などを結んだあとがあり、自宅の自室から遺書が見つかったところから新潟東署では、この中学生が自殺を図ったと見てゐる。

連に自殺をほめかす発言もあったという。学校は同日、授業終了後、全校集会を開き、事実を説明することにも命の大切さを訴えた。

校長は三度ばかり記者会見を行い、当初は「遺書もあつたといふ。学校は同日、授業終了後、全校集会を開き、事実を説明することにも命の大切さを訴えた。

具体的にいじめがあつたかどうかについても「把握していない」と述べた。

また、新潟市の石井博教育長は記者会見で「学校からの報告を受けながら、状況を正確に把握していく。今のところ、特にいじめの可能性があるという報告はない」と述べた。

県警のまともめでは、県内の中学生の自殺は今年に入ってから初めて。過去五年間では、平成七年一人、同六年四人、同五年一人、同四年三人、同三年一人となつてゐる。

また、遺族ら関係者の話では、遺書に「ガリ勉」「大嫌ひ」などいふものが書かれて、この中学生にあつた手紙四、五通が発見されてお

この中学生の父親は「自身でもはや、性格がおとなしい」など極んでいたと述べた。また二、三日前には友

「新潟日報」一九九六年十一月一日

また、遺族ら関係者の話では、遺書に「ガリ勉」「大嫌ひ」などいふものが書かれて、この中学生にあつた手紙四、五通が発見されてお

この中学生の父親は「自身でもはや、性格がおとなしい」など極んでいたと述べた。また二、三日前には友



新報記者が、新報編集局で、新報編集局長の佐藤清一氏と面談している様子。

新潟の中学生自殺

11/9(土)

校長、本紙に胸の内語る 手紙処分 批判受け止める

新潟の公立、山本井の中学生が、自殺した事件について、女学生が遺書で、「手紙処分」を受けたと主張し、女学生側の口を封じる生徒会幹部の処分が出たことを受けて、本紙は、この処分について新潟県立総合教育センターに取材した。山本井校長は、この処分について、「手紙処分」を受けたと主張する女学生が、自殺したと主張している。

検討会議設け原因調査

市議会を方針表明

新潟県教育委員会が、この事件について、原因を調査するために、検討会議を設けたいと方針を表明した。市議会でも、この事件について、原因を調査するために、検討会議を設けたいと方針を表明した。

「新潟日報」

1996年11月9日



新報記者が、新報編集局で、新報編集局長の佐藤清一氏と面談している様子。

いじめ、識者と究明 検討会議を設け

新潟県教育委員会が、この事件について、原因を調査するために、検討会議を設けたいと方針を表明した。市議会でも、この事件について、原因を調査するために、検討会議を設けたいと方針を表明した。

「新潟日報」

1996年11月28日

「性格原因発言は軽率」

新潟県教育委員会が、この事件について、原因を調査するために、検討会議を設けたいと方針を表明した。市議会でも、この事件について、原因を調査するために、検討会議を設けたいと方針を表明した。

教 義 第 172 号
平成 8 年 4 月 25 号

市町村(組合)教育委員会教育長 様
市町村(組合)立小・中学校長 様
市村立特殊教育諸学校長 様
県立特殊教育諸学校長 様

新潟県教育委員会教育長

学校における業務の精選・見直しについて(通知)

緊急かつ最重要課題である、いじめ。登校拒否問題の解決のためには、教師が児童生徒一人一人をかけがえのない存在として受けとめ、親身になって対応することが必要であり、いじめを出さない「いきいきした学校づくり」に向けて、教師が児童生徒と十分ふれあう時間を確保することが必要であります。

このため、県教育委員会としては、自ら、各種研修会、学校を対象にした調査や会議等の見直しを徹底して行うとともに、各種団体に対しても、学校への研究指定の在り方や持ち込み行事の見直しを要請しているところであります。

諸会議や校務等の見直しについては、平成 7 年 12 月 4 日付け教義第 1515 号の通知を受けて、その取組を進めていただいているところですが、市町村教育委員会及び学校においては、下記により学校における業務のより一層の精選・見直しをお願いします。

記

1. 学校は、業務の精選・見直しを一層進める。
 - (1) 校務・諸会議の効率的な運営に務める。
 - ア 校務分掌を、学校課題、学校規模、職員構成等の実態に測って見直し、その簡素化に務める。
 - イ 職員会議等校内における諸会議を精選するとともに、運営方法、実施回数、時間等からその見直しを進める。
 - ウ 校務、学級事務を見直し、情報機器の活用等によりその合理化、効率化に務める。
 - (2) 校内研修の持ち方、研究会等の参加の仕方を見直す。
 - ア 研修の推進に当たっては、研修テーマ、研修の進め方、作成する資料等について十分検討を加え、教職員の負担の軽減に務める。
 - イ 実践のまとめ等刊行物は、その必要性を検討するとともに、必要な場合でも、その分量、内容等から見直し、教職員の過重な負担とならないようにする。
 - ウ 研究会の参加については、その必要性を検討するとともに、その時期、回数、参加人数等について見直す。
 - (3) 学校への持ち込み行事等を見直す
地域の諸団何等からの持ち込み行事・事業については、教育的意義及び教師、児童生徒の負担を考慮しながら、その精選・見直しをする。
2. 市町村教育委員会は、学校の業務の精選・見直しを支援する。
 - (1) 当分の間、市町村教育委員会独自の研究指定校の委嘱を行わないことを基本とする。研究指定校に委嘱する場合でも、研究のまとめ方や研究発表会の在り方の見直しに務める。
 - (2) 各種研修会の開催に当たっては、県教育委員会が主催する各種研修会と内容面での重複をさけるとともに、研修内容・方法を工夫改善し、研修の効率化に務める。
 - (3) 学校への各種持ち込み行事・事業については、その教育的意義及び教師、児童生徒の負担を考慮しながら、その委嘱の削減に務める。また、市役所及び町村役場の関係課や地域における諸団体等に対しても、委嘱削減の趣旨について理解を求める。

過熱気味と部活動

運動部の実態を調査

果敢堂 初めて全校対象に

全国の中学校(以下、中)の部活動の実態を調査する「果敢堂」が、今年初めて中学校を対象とした調査を実施した。調査は、全国の中学校を対象とし、部活動の種類、人数、活動時間、活動内容、活動場所、活動費用、活動の意義、活動の課題などについて調査した。調査の結果、部活動の種類は、サッカー、バスケットボール、野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、水泳、柔道、剣道、空手道、相撲、射撃、乗馬、スキー、登山、スキー、登山、スキー、登山などであることがわかった。また、部活動の人数は、平均して10人程度であることがわかった。また、活動時間は、平均して1時間程度であることがわかった。また、活動内容は、練習、試合、合宿、研修などであることがわかった。また、活動場所は、学校、体育館、公園、野外などであることがわかった。また、活動費用は、平均して1万円程度であることがわかった。また、活動の意義は、体力増進、情操陶冶、社会性育成などであることがわかった。また、活動の課題は、活動の活性化、活動の普及などであることがわかった。

中学校

【調査対象】 全国の中学校
 【調査項目】 部活動の種類、人数、活動時間、活動内容、活動場所、活動費用、活動の意義、活動の課題など
 【調査結果】 部活動の種類は、サッカー、バスケットボール、野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、水泳、柔道、剣道、空手道、相撲、射撃、乗馬、スキー、登山、スキー、登山などであることがわかった。また、部活動の人数は、平均して10人程度であることがわかった。また、活動時間は、平均して1時間程度であることがわかった。また、活動内容は、練習、試合、合宿、研修などであることがわかった。また、活動場所は、学校、体育館、公園、野外などであることがわかった。また、活動費用は、平均して1万円程度であることがわかった。また、活動の意義は、体力増進、情操陶冶、社会性育成などであることがわかった。また、活動の課題は、活動の活性化、活動の普及などであることがわかった。

高校

【調査対象】 全国の高校
 【調査項目】 部活動の種類、人数、活動時間、活動内容、活動場所、活動費用、活動の意義、活動の課題など
 【調査結果】 部活動の種類は、サッカー、バスケットボール、野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、水泳、柔道、剣道、空手道、相撲、射撃、乗馬、スキー、登山、スキー、登山などであることがわかった。また、部活動の人数は、平均して20人程度であることがわかった。また、活動時間は、平均して2時間程度であることがわかった。また、活動内容は、練習、試合、合宿、研修などであることがわかった。また、活動場所は、学校、体育館、公園、野外などであることがわかった。また、活動費用は、平均して2万円程度であることがわかった。また、活動の意義は、体力増進、情操陶冶、社会性育成などであることがわかった。また、活動の課題は、活動の活性化、活動の普及などであることがわかった。

【調査対象】 全国の小中学校
 【調査項目】 部活動の種類、人数、活動時間、活動内容、活動場所、活動費用、活動の意義、活動の課題など
 【調査結果】 部活動の種類は、サッカー、バスケットボール、野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、水泳、柔道、剣道、空手道、相撲、射撃、乗馬、スキー、登山、スキー、登山などであることがわかった。また、部活動の人数は、平均して5人程度であることがわかった。また、活動時間は、平均して30分程度であることがわかった。また、活動内容は、練習、試合、合宿、研修などであることがわかった。また、活動場所は、学校、公園、野外などであることがわかった。また、活動費用は、平均して5千円程度であることがわかった。また、活動の意義は、体力増進、情操陶冶、社会性育成などであることがわかった。また、活動の課題は、活動の活性化、活動の普及などであることがわかった。

小学校

【調査対象】 全国の小学校
 【調査項目】 部活動の種類、人数、活動時間、活動内容、活動場所、活動費用、活動の意義、活動の課題など
 【調査結果】 部活動の種類は、サッカー、バスケットボール、野球、ソフトボール、バレーボール、卓球、テニス、水泳、柔道、剣道、空手道、相撲、射撃、乗馬、スキー、登山、スキー、登山などであることがわかった。また、部活動の人数は、平均して3人程度であることがわかった。また、活動時間は、平均して15分程度であることがわかった。また、活動内容は、練習、試合、合宿、研修などであることがわかった。また、活動場所は、学校、公園、野外などであることがわかった。また、活動費用は、平均して2千円程度であることがわかった。また、活動の意義は、体力増進、情操陶冶、社会性育成などであることがわかった。また、活動の課題は、活動の活性化、活動の普及などであることがわかった。